

日本史人物百八十撰 歌詞カード

1、とどろく時代 ^{じだい} 古代 ^{こだい} ~ 奈良 ^{なら}

やまたいこく 邪馬台国、邪馬台国、^{じょおう} 女王、女王、女王、女王、^{ぎしわじん でん} 魏志倭人伝、
^{しんぎわおう} 親魏倭王、30 あまりの国を従える、^{こた} 答えは ^{ひみこ} 【卑弥呼】

^{じゅうしちじょう けんぼう} 十七条の憲法、^{かんいじゅうにかい} 憲法、^{冠位十二階}、^{冠位十二階}、^{すいこてんのう せつしょう} 推古天皇の摂政、
推古天皇の摂政、^{けんずいし はけん} 遣隋使を派遣、遣隋使を派遣 ^{しょうとくたいし} 【聖徳太子】

^{はつ じよせい} 初の女性の天皇、^{すいこてんのう} 聖徳太子のおば、^{すいこてんのう} 聖徳太子が摂政、^{摂政}、
^{かきやひめ} 炊屋姫、592年に^{そくい}即位、^{ファイブナインティーントウイヤー}、
^{すいこてんのう} 【推古天皇】

607年、初の遣隋使、^{こくしょ ずい} 国書を隋に、^{国書を隋に}、^{国書を隋に}、^{わた} 国書を隋に渡す、
^{たいとう} 隋と対等の、^{隋と対等の}、^{隋と対等の} ^{こっこう おののいもこ} 国交 【小野妹子】

オーオーオーオー ^{おおおみ ぶつきょう ひろ} 大臣、^{もののべし} 仏教を広める、^{ものべし} 物部氏をほろぼす、^{すいこ} 推古、
^{きょうりよく} 推古天皇と協力、^{そがのうまこ} 聖徳、^{そがのうまこ} 聖徳太子と協力、^{そがのうまこ} 答えは 【蘇我馬子】

645年、^{たいか かいしん} 大化の改新、^{大化の改新}、^{なかとみのかまたり} 中臣鎌足と協力、^{そがし} 蘇我氏をほ
ろぼす、^{てんじてんのう} のちの天智天皇、^{てんじてんのう} のちの天智天皇 ^{なかのおおえのおうじ} 【中大兄皇子】

645年、大化の改新、中大兄皇子と協力、蘇我氏をほろぼす、のちの藤原鎌足、政治の改革をする【中臣鎌足】

天智天皇の弟、旧名 大海人皇子、大友皇子と争う、壬申の乱、壬申の乱、壬申の乱、壬申の乱【天武天皇】

女性の天皇、女性の天皇、大海人皇子の後、天智天皇の娘、藤原京を造る、律令政治、律令政治を進める、答えは【持統天皇】

止利仏師、止利仏師、止利仏師、飛鳥時代の彫刻家、釈迦如来像、釈迦如来像、釈迦三尊像、釈迦三尊像【鞍作鳥】

仏教を信じる、奈良時代の天皇、奈良の大仏、国分寺、東大寺、東大寺、東大寺、東大寺【聖武天皇】

悲田院、施薬院、聖武天皇の後、孤児・病人を救う、藤原不比等の娘、やす、やす、かべ、かべ、ひめ、ひめ、安宿姫【光明皇后】

女性の天皇、女性の天皇、天智天皇の娘、平城京、平城京、奈良、奈良、平城京、和同開珎（※）、古事記・風土記【元明天皇】

※近年「わどうかいちん」と読むことが多い

630年、初の遣唐使、唐の文化を、文化を学ぶ、唐の制度を、制度を学ぶ、奈良時代（※）、奈良時代【犬上御田鍬】

※奈良時代に影響を与えた人物、活動したのは飛鳥時代

きび ごうぞく りゅうがく もと がくしゃ のち せいじか
吉備の豪族、唐に留学、唐に留学、元は学者で後に政治家、後に政治家、
2回唐に渡る、右大臣にまでなる 【吉備真備】

唐に留学、唐に留学、唐の進士に合格、玄宗皇帝に仕える、帰国の
船が難破、難破、難破、難破、難破、難破 【阿部仲麻呂】

唐のえらい僧、日本渡航を熱望、5回失敗、5回失敗、ワン、ツー、
スリー、フォー、ファイブ、シッパイ!、唐招提寺を建てる、座禅
の姿のまま亡くなる 【鑑真】

奈良時代の貴族、古事記の筆録、日本書紀の編纂 【太安万侶】

あすかじだい かじん まんようしゅう だいひょう ゆうだい かふう かきのもとのひとまる
飛鳥時代の歌人、万葉集を代表する、雄大な歌風 【柿本人麻呂】

しよき ひんきゅうもんどうか よ むじょう うた
奈良初期の歌人、万葉集を代表する、貧窮問答歌、世の無常を歌う
【山上憶良】

奈良初期の歌人、万葉集を代表する、短歌にすぐれる、自然や景色
の歌 【山部赤人】

えぞ へいてい せいいたいしょうぐん かんむてんのう にんめい ちょうてい どうほくしんしゅつ
蝦夷の平定、征夷大將軍、桓武天皇が任命、朝廷の東北進出
【坂上田村麻呂】

「も」は文章博士、「う」は右大臣になる、「け」は遣唐使の廃止を
進言 【菅原道真 (すがわらのみちざね)】

ほっそうしゅう こうけんじょうこう やまい なお だいじょうだいじんぜんじ ゆげし
法相宗の僧、孝謙上皇の病を治す、太政大臣禅師、弓削氏、弓削氏、
弓削氏、弓削氏、弓削氏 【道鏡】

2、黄昏の貴族たち 平安

こうにんてんのう おうじ へいあんきょう きゅうめい やまべのおう さわらしんのう おんりょう
光仁天皇の皇子、平安京、旧名 山部王、平安京、早良親王の怨霊を
おそれる、平安京 【桓武天皇】

むすめ きさき せっかんせいじ ほうじょうじ た
娘を天皇の后に、摂関政治、摂関政治、摂関政治、法成寺を建てる、
子は頼通 【藤原道長】

びょうどういんほうおうどう すいたい しゅっけ
道長の子、平等院鳳凰堂、藤原氏の衰退、出家、出家、出家、出家、
晩年は出家 【藤原頼通】

しもうさのくに ごうぞく こくふ やきう ちょうてい ほんらん しんのう な
下総国の豪族、豪族、国府を焼討ち、朝廷に反乱、新皇を名のる、
関東を支配、承平・天慶の乱 【平将門】

かいぞく こうせい ちょうてい ぶっし りやくだつ せつつ あわじ
承平・天慶の乱、海賊を構成、朝廷の物資を略奪、摂津・淡路・
讃岐・安芸・周防・太宰府を襲う 【藤原純友】

はちまंतरろう てんかだいいち ぶゆう し ぜんくねん ごさんねん えき
八幡太郎、八幡太郎、天下第一の武勇の士、前九年・後三年の役を
平定、昇殿を、昇殿を、許される 【源義家】

ごさんじょうてんのう せいけん せんせいせいじ
後三条天皇の皇子、57年間政権をにぎる、専制政治、い、い、い、い、
院政 【白河上皇】

へいじ か ぶ し はじ だいじょうだいじん
平治の乱、平治の乱、平治の乱に勝つ、武士で初めての太政大臣、
娘を天皇の后に、日宋貿易、日宋貿易 【平清盛】

かまくら ぶしょう 鎌倉の武将、平治の乱にやぶれる、みなもとのよりとち ちち ほうげん 源頼朝の父、保元の乱では一族
たたか みなもとのよしえ と戦う 【源義朝】

でんぎょうだいし 伝教大師、てんだいしゅう 大師、ひえいざん えんりやくじ 天台宗、延暦寺、けんとうしせん 遣唐使船、とう わた 唐に渡る、
かまくらしんしゅうきょう てほん 鎌倉新宗教の手本、さいちよう さ一 【最澄】

こうぼうだいし 弘法大師、し、し、し、しんごんしゅう こうやさん 真言宗、こうざうぶじ 高野山 金剛峯寺、しゅげいしゅちいん 綜藝種智院、しんごんしゅう 種智院、
まんのういけ こうかい 満濃池 【空海】

かじん 歌人、かじん 歌人、こきんわかしゅう 古今和歌集、せんじゃ 選者、とさにっき 土佐日記、とさにっき 土佐日記、かなぶん かな文の
はつたつ えいきょう つらゆきしゅう 紀貫之、きのつらゆき 紀貫之 【紀貫之】

ちゅうぐうしょうし 中宮彰子、つか 仕える、じょりゅうぶんがくしゃ 女流文学者、げんじものがたり 源氏物語、げんじものがたり 源氏物語、ふじわらのためとき 藤原為時の
むらさきしきぶ 娘 【紫式部】

ていし 中宮定子に仕える、ていし 中宮定子に仕える、じょりゅうぶんがくしゃ 女流文学者、まくらのそうし 枕草子、まくらのそうし 枕草子、きゅうてい 宮廷の、ありさま 有様、えが 描く
せいしょうなごん 【清少納言】

じょうどきょう 浄土教、あみだひじり 阿弥陀聖、ねんぶつ 念仏、とな きょう ある 唱え京を歩く、てんたいしゅう 天台宗も学ぶ
くうや 【空也】

じょうどきょう 浄土教、じょうどきょう 浄土教、えしんそうず 恵心僧都、おうじょうようしゅう 往生要集、てんたいしゅう 天台宗の僧
げんしん 【源信】

3、質実剛健の武士 鎌倉

かまくらばくふ よしとも ほうじょうまさこ けっこん へいし ほろ
鎌倉幕府、義朝の子、北条政子と結婚、結婚、平氏を、平氏を、滅ぼす、
滅ぼす 【源頼朝】

つま ときまさ むすめ あましようぐん
源頼朝の妻、時政の娘、尼将軍、しゆく、しゆく、ろう、ろう、
しゆくろうかいぎ ほうじょうまさこ
宿老会議 【北条政子】

たかくらてんのう おうじ いんせい おこな とうばくけいかく じょうきゅう らん ごとばじょうこう
高倉天皇の皇子、院政を行う、倒幕計画、承久の乱 【後鳥羽上皇】

ときまさ ちょうなん まさこ おとうと しっけん ほうじょうよしとき
時政の長男、政子の弟、鎌倉2代執権 【北条義時】

よしとき ごせいばいしきもく ひょうじょうしゅう ほうじょうやすとき
義時の長男、鎌倉3代執権、御成敗式目、評定衆 【北条泰時】

やすとき まご
泰時の孫、泰時の孫、鎌倉5代執権、ひき、ひき、ひき、ひき、
ひきつけしゅう ほうじょうときより
引付衆 【北条時頼】

ときより げんこう しりぞ ほうじょうときむね
時頼の長男、鎌倉8代執権、元寇を退ける 【北条時宗】

そふ ていこく とういつ ゆうぼくみんぞく
フビライ・ハンの祖父、祖父、モンゴル帝国を統一、遊牧民族、モ
ンゴルの王、チン、チン、チン、チン 【チンギス・ハン】

チンギス・ハンの孫、孫、孫、孫、モンゴル5代の汗、汗、汗、汗、
日本を攻撃、元寇、元寇、フビ、フビ、フビ、フビ 【フビライ・ハン】

イタリア、イタリア、イタリア人、ベネチア、ベネチア、ベネチア
しょうにん とうほうけんぶんろく
の商人、東方見聞録 【マルコ・ポーロ】

武士の子、浄土宗を開く、南無阿弥陀仏を唱える、土佐に、土佐に、
なが
流される、ほ、ほ、ほ、ほ 【法然】

きぞく じょうどしんしゅう
貴族の子ども、浄土真宗を開く、法然、法然の弟子、親鸞 【親鸞】

武士の子、時宗を開く、浄土宗を学ぶ、全国を歩く、おどり念仏、
いっぺん
3べん、2へん、いやいや 【一遍】

りょうし にちれんしゅう
漁師の子、漁師の子、日蓮宗を開く、法華經のみを信じる 【日蓮】

かんぬし りんざいしゅう
神主の子、臨濟宗を開く、宋に渡って勉強 【栄西】

ちやうてい やくにん そうとうしゅう どうげん
朝廷の役人の子、曹洞宗を開く、栄西に学ぶ 【道元】

こんごうりきしぞう だいだい ぶっし ちからづよ さくひん うんけい
金剛力士像、家は代々 仏師、力強い作品、できた 【運慶】

金剛力士像、運慶、運慶の父の弟子、優しい温和な作品、完成
かいけい
【快慶】

しょき かじん しゅんぜい しんこきんわかしゅう
鎌倉初期の歌人、俊成の子ども、新古今和歌集の編纂（へんさん）
ふじわらのていか
【藤原定家】

鎌倉3代、3代将軍、頼朝の子、貴族に憧れる、金塊和歌集を作る
あこが きんかいわかしゅう つく
【源実朝】
みなもとのさねとも

鎌倉前期の歌人で随筆家、方丈記を著す 【鴨長明】
ぜんき ずいひつか ほうじょうき あらわ かもちょうめい

鎌倉末期の歌人で随筆家、徒然草を著す 【吉田兼好】
まつき つれづれぐさ よしだけんこう

後宇多天皇の子、足利尊氏、新田義貞、楠木正成、建武の新政
ごうだてんのう あしかがたかうじ につたよしさだ くすのきまさしげ けんむ しんせい
【後醍醐天皇】
ごだいごてんのう

幼名を多聞丸、河内国の豪族、後醍醐天皇を助ける 【楠木正成】
ようめい たもんまる かわちのくに ごうぞく たす くすのきまさしげ

上野国の豪族、元は鎌倉幕府の御家人、後醍醐天皇を助ける
こうづけのくに もと ごけにん
【新田義貞】
につたよしさだ

4、激動の時代 室町・戦国

むろまちばくふ つく こだいご てんのう
室町幕府を作る、後醍醐、後醍醐、後醍醐、後醍醐、後醍醐天皇を
たす けんむ しんせい ふまん あしかがたかうじ
助ける、建武の新政に不満、不満、不満があります 【足利尊氏】

まご はな ごしょ にちみんぼうえき きんかく た
尊氏の孫、花の御所、日明貿易、日明貿易、金閣を建てる、
きたやまぶんか あしかがよしみつ
北山文化 【足利義満】

しゅごだいみょう かんれい あしかがよしまさ
守護大名、守護大名、管領、管領、管領、管領、足利義政を助ける、
おうに らん とうぐん せんごくじだい げんいん ほそかわかつもと
応仁の乱の東軍、戦国時代の原因 【細川勝元】

もちとよ ひのとみこ うしろだ せいぐん
守護大名、名は持豊、日野富子の後立てとなる、応仁の乱の西軍、
やまなそうぜん
戦国時代の原因 【山名宗全】

よしのり しょうぐん つま ぎんかく
義教の子、室町8代将軍、妻は妻は妻は妻は日野富子、銀閣を建てる、
ひがしやまぶんか あしかがよしまさ
東山文化 【足利義政】

びっちゅうのくに う ぜんしゅう そう なみだ
備中国生まれ、禅宗の僧、涙で、えーん、ねずみの、チュウチュウ、
え えが すいぼくが たいせい さんすいちようかん せっしゅう
絵を描く、水墨画を大成、大成、山水長巻、山水長巻 【雪舟】

かんぜりゅう そうししゃ ぜ あみ ちち のう かんせい
観世流の創始者、世阿弥の父、能を完成、能を完成、能を完成、足
みと かんあみ
利義満に認められる 【観阿弥】

はってん
観世流の2代目、観阿弥の子、能を発展、能を発展、能を発展、
あしかがよもち よしのり さど なが ぜあみ
足利義持・義教には認められず佐渡に流される 【世阿弥】

ナバラ王国の貴族、イエズス会を結成、イゴヨク広まる、いち、ご、
よん、きゅう、イゴヨク広まるキリスト教【フランシスコ・ザビエル】

尾張の戦国大名、桶狭間の戦い、楽市、楽市、楽座、楽座、楽市・楽座、
本能寺の変、鉄砲を使用【織田信長】

駿河の戦国大名、氏親の子、遠江・三河まで支配した、桶狭間で信
長に敗れる【今川義元】

義晴の次男、一度は出家する、織田信長の助けで将軍になる、織田
信長に京より追放される【足利義昭】

美濃国の守護の子孫、元は朝倉義景の家来、織田信長の家来、本能
寺の変【明智光秀】

尾張国の農民の子、最初は今川氏の家来、後に織田信長に仕える、
天下統一【豊臣秀吉】

安土桃山時代の画家、祖父より英才教育を受ける、豪華絢爛、豪華
絢爛、信長・秀吉に好まれる【狩野永徳】

堺の豪商、禅を学ぶ、茶の湯も学んで茶道を大成、秀吉に用いられ
るが後に対立【千利休】

5、^{へいわ} ^{じだい} ^{えどぜんき} 平和の時代 江戸前期

^{みかわのくに} ^{せんごくだいみょう} 三河国の戦国大名、大名、大名、^{しょうねんじだい} ^{ひとじちせいかつ} 戦国大名、少年時代は人質生活、生活、生活、人質生活、^{えどぼくふ} ^{ひら} 江戸幕府を開く 【^{とくがわいえやす} 徳川家康】

^{おうみのくに} ^う 近江国の生まれ、生まれ、^{ひでよし} ^{そっきん} 秀吉の側近、側近、^{もと} ^{がくもん} ^{こころざ} ^{せきがはら} 元は学問を志す、関ヶ原の戦いで徳川家康に敗れる 【^{いしだみつなり} 石田三成】

家康の子、^{しょうぐん} ^{いえみつ} 徳川2代将軍、家光のおやじさん、そう家光の父、^{ぶけしよはつと} ^{さだ} 武家諸法度を定める 【^{とくがわひでただ} 徳川秀忠】

秀吉の子、母は^{よどぎみ} 淀君、^{いご} 関ヶ原の戦い以後は一大名、^{おおさか} ^{じん} 大阪の陣で徳川家康に敗れる 【^{とよとみひでより} 豊臣秀頼】

^{けいあん} ^{おふれがき} ^{さこく} ^{かんせい} ^{さんきんこうたい} 慶安の御触書、鎖国の完成、参勤交代、参勤交代、参勤、参勤、参勤交代 【^{とくがわいえみつ} 徳川家光】

秀吉の^{そくしつ} 側室、秀頼の母、^{あさいながまさ} 浅井長政の子、徳川家康と^{たいりつ} 対立（たいりつ）
【^{よどぎみ} 淀君】

オラオラオラオラ、オランダ人、オラオラオラオラ、オランダ人、^{がいこうこもん} ^{そうなん} ^{ぶんごのくに} ^{ひょうちやく} 徳川家康の外交顧問、遭難して豊後国に漂着 【ヤン・ヨーステン】

イギイギイギイギ、イギリス人、イギイギイギイギ、イギリス人、^{みうらあんじん} 徳川家康の外交顧問、日本名は三浦按針 【ウィリアム・アダムズ】

しゅいんせんぼうえき しょうにん わた にほんじんまち かしら こくおう
朱印船貿易の商人、シャムに渡る、日本人町の頭、国王ソンタムに
しんらい やまだながまさ
信頼をうける 【山田長政】

いっき じゅうぜい だんあつ
一揆、一揆、一揆、一揆、一揆の頭、重税とキリスト教の弾圧、
はらじょう しまばら らん あまくさしろう
原城に立てこもる、島原の乱 【天草四郎】

ぞくちょう えぞ ひだかちほう しはい まつまえはん かんしょう
アイヌの族長、蝦夷の日高地方を支配、松前藩がアイヌに干渉、ア
いはんらん お
イヌに干渉、アイヌ人の反乱を起こす 【シャクシャイン】

じゆきょう しょうるい れい しつ わる
家光の子、徳川5代将軍、儒教を学ぶ、生類あわれみの令、質の悪
かへい つく とくがわつなよし
い貨幣を造る 【徳川綱吉】

じゆがくしゃ いえのぶ いえつぐ つか しょうとく ち
儒学者、家宣・家継に仕える、しょうしょう、とくとく、正徳の治、
はいし あらいはくせき
生類あわれみの令を廃止する 【新井白石】

きいはんしゆ きょうほう かいかく めやすばこ せっち あ まい
紀伊藩主の子、徳川8代将軍、享保の改革、目安箱の設置、上げ米
せい くじかたおさだめがき とくがわよしむね
の制、公事方御定書 【徳川吉宗】

うおどんや らんがくしゃ さいばい
魚問屋の子、儒学・蘭学者、徳川吉宗に仕える、さつまいもの栽培、
きぎん ふせ やくわり あおきこんよう
飢饉を防ぐ役割 【青木昆陽】

ろうじゅう しょうにん ちから りよう かいかく いんばぬま てがぬま かんたく
老中、老中、老中、商人の力を利用し改革、印旗沼・手賀沼の干拓、
えぞ ち ちょうさ せいじ ひはん あ たぬまおきつぐ
蝦夷地の調査、わいろ政治と批判を浴びる 【田沼意次】

吉宗まごの孫、田沼意次あとの後の老中、寛政かんせい、寛政、改革、改革、寛政の改革、
かこいまい 囲米の制、 囲米の制 【松平定信まつだいらさだのぶ】

老中、贅沢ぜいたくを禁きんずる、人返令ひとがえしれい、株仲間かぶなかまを解散かいさんさせる、天保てんぽうの改革、
あげちれい 上地令 【水野忠邦みずのただくに】

ぶし 武士の子、 しょこく 諸国を たび 旅する、 のうみん 農民の けいけん 経験を さいて 農業を けんきゅう 研究、
のうぎょうぜんしょ 農業全書を あらわ 著す 【宮崎安貞みやざきやすさだ】

農民の子、 めいれき 明暦の たいか 大火で 大もうけ、 ひがしまわ 東廻り 航路・ にしまわ 西廻り 航路を 開く、
あじがわ 安治川を つく 作る、 はたもと 旗本に まで しゅっせ 出世する 【河村瑞賢かわむらざいけん】

しゅしがくしゃ 朱子学者、 ちょうにん 町人の子、 ふじわらせいか 藤原惺窩の 弟子、 でし 徳川家康に 仕える
はやしらざん 【林羅山】

みとはんしゅ 水戸藩主、 だいにほんし 大日本史の へんさん 編纂、 かさはらすいどう 笠原水道を 作る、 すけさん、 かくさん、
そろそろ行きますよ 【徳川光圀とくがわみつくに】

6、麗しの江戸 江戸後期

もとはいじん のち うきよぞうし さっか にほんえいたいぐら あらわ いはらさいかく
元俳人、後に浮世草子の作家となる、日本永代蔵を著す 【井原西鶴】

ぶし じょうりさっか ぎり にんじょう えが こくせんやかっせん
武士の子、浄瑠璃作家、義理と人情を描く、国姓爺合戦を著す
ちかまつもんざえもん
【近松門左衛門】

いがのくに げんろくじだい だいひょうてき はいせい よ おく
伊賀国の生まれ、元禄時代の代表的俳人、俳聖と呼ばれる、奥の
ほそみち まつおばしょう
細道を著す 【松尾芭蕉】

ちゅうき が か そうしよくが たいせい じゅん
江戸中期の画家、装飾画を大成、純（じゅん）日本風の絵、絵ッ？、
こうはくばいずびょうぶ おがたこうりん
紅白梅図屏風 【尾形光琳】

ぜんき うきよえし うきよえはんが がんそ たいひ きょうちよう
江戸前期の浮世絵師、浮世絵版画の元祖、白と黒の対比を強調、
よしわら てい みかえ びじんず ひしかわものぶ
吉原の躰、見返り美人図 【菱川師宣】

こくがくしゃ いせ いしゃ かもまぶち あと
江戸中期の国学者、伊勢の医者、伊勢の医者、賀茂真淵の後をつぐ、
こじきでん もとおりりなが
古事記伝を著す 【本居宣長】

らんがくしゃ かいたいしんしょ あおきこんよう らんがく まな すぎたげんぱく
江戸中期の蘭学者、解体新書、青木昆陽に蘭学を学ぶ、杉田玄白と
きょうりよく まえのりようたく
協力 【前野良沢】

いがくしゃ おばま おばまはん
江戸中期の医学者、解体新書、小浜、小浜、小浜、小浜、小浜藩の
はんい にしげんてつ げか すぎたげんぱく
藩医、西玄哲からオランダ外科を学ぶ 【杉田玄白】

だれ 誰、来てる？、エシキテル、本草学、^{ほんぞうがく}本草学、^{やくそう}薬草の^{がくもん}学問です、本草学、
^{ながさき}長崎に^{りゅうがく}留学、^{はつめい}発明 ^{ひらがげんない}【平賀源内】

^{だいにほんえんかいよちぜんず}大日本沿海輿地全図、^{しごせん}子午線の^{そくりょう}測量、^{なが}長さを^{ぜんこく}測量、72才で^{ぜんこく}全国を
測量、測量、測量、測量 ^{いのうただたか}【伊能忠敬】

モリソン号事件で^{ごうじけん}幕府を^{ばくふ}批判、そして、そして、そして、^{とら}捕らえられる、
^{ようがくしゃ}洋学者であり、^{わたなべかざん}画家でもある ^{いのうただたか}【渡辺華山】

モリソン号事件で幕府を批判、^{なるたきじゆく}鳴滝塾で^{べんきょう}勉強、勉強、勉強…^{ゆめものがたり}夢物語…
^{たかのちようえい}勉強 ^{いのうただたか}【高野長英】

ドイツの^{いがくしゃ}医学者、ド、ド、ド、ド、ドイツの医学者、鳴滝塾で蘭学
を^{おし}教える、^{ちづ}日本地図を^{かいがい}海外に^も持ち出そうとする ^{いのうただたか}【シーボルト】

^{こうき}江戸後期の作家、はじめは^{じょうるり}浄瑠璃を書いた、^か大衆文学を^{たいしゅうぶんがく}確立、
^{とうかいどうちゅうひざくりげ}東海道中膝栗毛、^{じっぺんしゃいっく}やじさん！、きたさん！ ^{いのうただたか}【十返舎一九】

江戸後期の作家、こけけけこけこけこけこけこけこ、こっけい^{ほん}本、
^{しゃせいりよく}写生力に^{すぐ}優れる、^{うきよぶろ}浮世風呂、^{うきよどこ}浮世床 ^{しきていさんば}【式亭三馬】

江戸後期の作家、^{よみほん}読本の^{だいいちにんしゃ}第一人者、^{ばんねん}晩年は^{しつめい}失明、^{かんぜんちようあく}勧善懲悪、^{ちよさくぶつ}著作物
^{なんそうさとみはっけんでん}は南総里見八犬伝 ^{たきざわばきん}【滝沢馬琴】

江戸中期の俳人、^{いけのたいが}池大雅^{がじん}とならぶ画人でもある、絵のようにくっきりと鮮やかな俳句 **【与謝蕪村】**

江戸後期の俳人、^{よわ}弱いものへの^{おも}思いやりにあふれた俳句、著作物はおらが春 **【小林一茶】**

江戸後期の浮世絵師、^{びじんが}美人画に^{すぐ}優れる、^{たんじゅんめいかい}単純明快な^{いろ}色と^{せん}線、Color & ^{アンド} Line、^{フランス}フランスの^{いんしょうは}印象派に^{えいきょう}影響を^{あた}与える **【喜多川歌麿】**

江戸後期の浮世絵師、^{ひけ}火消しの^{ちょうなん}長男、^{ふうけいが}風景画に優れる、^{きょうか}狂歌や、狂歌や、俳句も、俳句も、^{とくい}狂歌や俳句も得意 **【安藤広重】**

江戸後期の浮世絵師、^{さいしょ}最初は^{もくはんが}木版画を^{なら}習う、^{がほう}あらゆる画法を学ぶ、^{さいのう}風景画で^{あらわ}才能を表す、^{ふがくさんじゅうろっけい}富嶽三十六景 **【葛飾北斎】**

^{ようめいがくしゃ}陽明学者、^{おおさかまちぶぎょう}大阪町奉行の^{よりき}与力、^{てんぼう}天保の大飢饉で^{だいきぎん}人々が^{ひとびと}苦しむ、^{かねも}金持ちや大商人から^{だいしょうにん}金や^{かね}米を^{こめ}奪う **【大塩平八郎】**

7、^{ひろ}広がる世界 ^{せかい}幕末・^{めいじ}明治

ロシアの^{ぐんじん}軍人、^{にほん}日本への^{さいしょ}最初の^{しせつ}使節、^{ひょうりゅうみん}漂流民・^{だいこくやこうだゆう}大国屋光太夫をつれて
訪日、^{ほうにち}日本と^{つうしょう}通商を、^{ひら}開く^{もくてき}目的【ラクスマン】

^{たんけんか}探検家、^{ちい}小さい^{ころ}頃から^{さんじゆつ}算術を^{まな}学ぶ、1 + 1 は、えっーと3、ばかもん！、
^{からふと}樺太を^{たんけん}探検【^{まみやりんぞう}間宮林蔵】

^{ひがし}東インド^{かんたいしれいちょうかん}艦隊司令長官、^{ねん}1853年^{はつらいにち}初来日、いらっしゃいませ、
^{にちべいわしんじょうやく}日米和親条約【ペリー】

アメリカの^{がいこうかん}外交官、^{ちゅうにちそうりょうじ}駐日総領事、^{しもだじょうやく}下田条約で^{ちがいほうけん}治外法権を得る、
^{にちべいしゅうこうつうしょうじょうやく}日米修好通商条約を^{むす}結ぶ【ハリス】

^{ひこねはんしゅ}彦根藩主、^{たいろう}大老になる、^{あんせい}安政の^{たいごく}大獄で、^{はんたいは}反対派を^{だんあつ}弾圧、^{さくらだもんがい}桜田門外で
^{あんさつ}暗殺される、^{むねん}無念【^{いいなおすけ}井伊直弼】

^{ちようしゅうはんしゅつしん}長州藩出身、^{ばくまつ}幕末の^{しそうか}思想家、^{くろふね}黒船に^の乗ろうとする、^{しょうかそんじゆく}松下村塾を開
く【^{よしだしょういん}吉田松陰】

長州藩出身、^{とうばくうんどう}倒幕運動の^{しどうしゃ}指導者、^{しょうかそんじゆく}松下村塾に学ぶ、^{きへいたい}奇兵隊、奇兵隊、
奇兵隊をつく【^{たかすぎしんさく}高杉晋作】

^{とさはん}土佐藩出身、^{かつかいしゅう}土佐藩出身、^{もんじん}勝海舟の門人になる、^{かいえんたい}海援隊を^{そしき}組織する
【^{さかもとりょうま}坂本龍馬】

さつまはん さっちょうどうめい とぼ ふしみ たたか ばくふぐん か
薩摩藩出身、薩長同盟を結ぶ、鳥羽・伏見の戦いで幕府軍に勝つ、
せいなんせんそう やぶ さいごうたかもり
西南戦争に敗れる 【西郷隆盛】

さつまはん さっちょうどうめい めいじせいふ じっけん はんせきほうかん
薩摩藩出身、薩長同盟を結ぶ、明治政府の実権をにぎる、版籍奉還、
はいはんちけん じっし おおくぼとしみち
廃藩置県を実施する 【大久保利通】

ちようしゅうはんい きそ
長州藩医の子、松下村塾に学ぶ、明治政府の基礎をかためる、版籍
奉還、廃藩置県を実施する 【木戸孝允】
きどたかよし

えど だいしやうぐん いいなおすけ はんたい しょぼつ やまのうちとよしげ すず
江戸15代将軍、井伊直弼に、反対して処罰される、山内豊信の勸
めで、大政奉還、大政奉還 【徳川慶喜】
たいせいほうかん とくがわよしのぶ

くげ めいじいしん しどう じゆうみんけんうんどう
公家の子、明治維新を指導、自由民権運動に反対（はんたい）、
さんせい おおくましげのぶ ついほう いわくらともみ
賛成、反対、大隈重信を追放 【岩倉具視】

しじゆく せいようへいがく おし かいぐんそうれんじよ かいけん
私塾で西洋兵学を教える、海軍操練所を作る、西郷隆盛と会見、
えどじやう かつかいしゅう
江戸城 【勝海舟】

はんぼつせいじか ちようへいれい せいてい お
藩閥政治家、松下村塾に学ぶ、徴兵令を制定、自由民権運動を押さ
える 【山県有朋】
やまがたありとも

し そう か てきじゆく にんげん びやうどう と けいおうぎじゆく そうせつ
明治の思想家、適塾に学ぶ、人間の平等を説く、慶応義塾を創設、
がくもん ふくざわゆきち
学問ノススメ 【福沢諭吉】

明治の役人、近代、近代、郵便、郵便、近代郵便制度を作る、
立憲改進黨の結成に参加、貴族院議員になる 【前島密】

明治、大正の教育家、アメリカに留学、女子英学塾を創設、エー、えー、
チガイマス、エー、えー、チガウデショ 【津田梅子】

安中藩出身、21才より英語の勉強をする、海外で勉強、キリスト
教の洗礼を受ける、同志社を設立 【新島襄】

征韓論を主張して、敗れる、民選議員設立建白書を政府に出す、
板垣死すとも自由は死せず 【板垣退助】

藩閥政治に対抗、立憲君主制を理想とする、立憲改進黨を結成する、
東京専門学校を創設 【大隈重信】

松下村塾に学ぶ、アメリカ、ヨーロッパを視察、初代の総理大臣、
下関条約の全権 【伊藤博文】

坂本竜馬に認められる、外交官として能力を発揮、治外法権の撤廃
に成功 【睦奥宗光】

6年間アメリカに留学、日英同盟を結ぶ、関税自主権を回復
【小村寿太郎】

こてん ぶんがく した ぶんげいざっしみようじょう なかま くわ きみ
古典を勉強し文学に親しむ、文芸雑誌明星の仲間に加わる、君死に
たまふことなかれ 【与謝野晶子】

みんしゅうかじん きんだいちきょうすけ えいきょう いちあく すな いしかわたくぼく
民衆歌人、金田一京助に影響を受ける、一握の砂 【石川啄木※】

※「たく」は異字

じゆうみんけんうんどうをしゅうだん しゅうぎいんぎいん どうせん あしおこうどくじけん せきにん
自由民権運動を指導、衆議院議員に当選、足尾鉍毒事件の責任を
ついきゅう たなかしょうぞう
追求 【田中正造】

8、新しい時代へ 大正・昭和

ドイツでコッホの指導を受ける、破傷風菌の純粹培養に成功、ペスト菌を発見 【北里柴三郎】

昔の学者だけれど細菌学者、北里柴三郎に学ぶ、赤痢菌を発見 【志賀潔】

左手を火傷、あつい、梅毒スピロヘータの培養に成功、南米で黄熱病の研究 【野口英世】

陸軍省軍医、ドイツへ留学して細菌学・衛生学を学ぶ、舞姫、山椒大夫 【森鷗外】

正岡子規と親しくつきあう、松山中学の先生になる、吾輩は猫である 【夏目漱石】

詩人、小説家、基督教の影響、基督教、若菜集、若菜集、破戒、夜明け前 【島崎藤村】

近代洋画界の育成者、印象派の、印象派の印象派の流（なが）れをくむ、湖畔、湖畔、舞妓、舞妓、読書、読書、湖畔、舞妓、読書 【黒田清輝】

さつきよくか 作曲家、ピアノ奏者としての才能を示す、ドイツ留学中に病気にかかる、これだ 【滝廉太郎】

たいしょう せいじか 大正の政治家、フランスに留学して国際的なセンスを身につける、パリ講和会議の全権 【西園寺公望】

アメリカ28代大統領、パリ講和会議に出席、国際連盟の設立を提唱 【ウィルソン】

さっぽろのうがっこう 札幌農学校に学ぶ、キリスト教の影響を受ける、5000円紙幣、国際連盟事務局次長 【新渡戸稻造】

せいとうせいじか 政党政治家、立憲政友会の総裁になる、藩閥政治に対抗、平民宰相とよばれる 【原敬】

わたくし 私 は新しい女である、雑誌青鞥を創刊、市川房枝と協力、婦人参政権の獲得に努力 【平塚雷鳥】

さんぎいんぎいん 参議院議員、平塚雷鳥と協力、婦人の権利拡張運動、拡張運動、婦人参政権獲得期成同盟会を結成 【市川房枝】

政党政治家、東京市長としてワシントンに桜をおくる、憲政の神様とよばれる 【尾崎行雄】

政党政治家、^{せいなんせんそう}西南戦争では^{じゅうぐんきしゃ}従軍記者として^{かつやく}活躍、^{そうりだいじん}総理大臣、5・
15事件で^{じけん}暗殺される ^{いぬかいつよし}【犬養毅】

政治学者、^{しん}清の^{えんせいがいけ}袁世凱家の^{かていきょうし}家庭教師、^{ふつうせんきよ}普通選挙と^{げんろん}言論の^{じゆう}自由を^{もくひょう}目標、
^{みんぼんしゆぎ}民本主義を^{とな}唱える ^{よしのさくぞう}【吉野作造】

総理大臣、^{がいこうかん}外交官として^{しゅわん}手腕を^{はつき}発揮、^{ふつうせんきよほう}普通選挙法を^{せいてい}制定、^{ちあんいじほう}治安維持法
を制定、1925年 ^{かとうたかあき}【加藤高明】

小説家、^{かぞくしゅっしん}華族出身、^{えいきょう}トルストイの^し影響を受ける、^し志賀直哉・
^{ありしまたけお}有島武郎らと^{ぶんがくざっし}文学雑誌^{しらかば}白樺を^{そうかん}創刊 ^{むしやのこうじさねあつ}【武者小路実篤】

小説家、^{うちむらかんぞう}内村鑑三の^{おし}教えを受ける、^{みと}夏目漱石に認められる、
^{あんやこうろ}暗夜行路 ^し【志賀直哉】

小説家、^{ありしまいくま}有島生馬・^{さとみとん}里見弴の^{あに}兄、^{さっぽろのうがっこう}札幌農学校で^{えい}キリスト教の影響を
受ける、^{うま}生れ出づる^い悩み ^{なや}【有島武郎】

小説家、^{こてん}古典を^{ざいりょう}材料に^{にんげん}人間の^{えが}エゴイズムを描く、^{えが}夏目漱石に認めら
れる、^{らしょうもん}羅生門 ^{あくたがわりゆうのすけ}【芥川龍之介】

小説家、^{しんげんじつしゆぎ}新現実主義、^{ぶんげいしゆんじゅう}文芸春秋を^{おんしゅう}創刊、^{かなた}恩讐の^{かえ}彼方に、^{かえ}父帰る
^{きくちかん}【菊池寛】

小説家、近代劇のあけぼの時代を作る、人道主義にたった作品、
路傍の石 【山本有三】

小説家、ロシア文学に共感、プロレタリア文学、かにかにかこうせん、
蟹工船 【小林多喜二】

軍人、政治家、陸軍畑を歩く、アメリカ・イギリスとの開戦を主張、
内閣総理大臣として開戦にふみきる 【東条英機】

アメリカの軍人、連合軍最高司令官、日本の民主化を指示、
財閥解体、農地改革 【マッカーサー】

理論物理学者、日本人初のノーベル賞を受賞、朝永振一郎と同期、
基礎物理学研究所初代所長になる 【湯川秀樹】